

Title	社会学研究科紀要第70号掲載論文
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2011
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学：人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.71 (2011.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000071-0140

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

社会学研究科紀要第70号掲載論文

内 容

論 文		
まちづくりと「出会い」		
——千葉県松戸市のボランティア・アソシエーションを事例として——	山田賢司	1
高度経済成長による備中神楽の変遷		
——神楽会計帳の分析から——	川野裕一朗	15
ブータン東部におけるツーリズム導入に関する一考察		
——メラとサクテンの事例から——	脇田道子	31
「沖縄方言」を書くことをめぐる政治学		
——作家・大城立裕の文体論とその社会的文脈——	松下優一	55
楽器と音律の合理化における〈身体感覚〉の変遷		
——マックス・ウェーバー音楽論再考——	寺前典子	73
戦前期「媒介婚主義」の思想と論理		
——	阪井裕一郎	91
合成写真の再認における正確さと確信度の関係の検討		
——	日根恭子・伊東裕司	113
タッチスクリーン上に提示された、8本の腕を持つ手裏剣形迷路課題の遂行中および遂行開始前における前頭前野活動:近赤外線分光法による検討		
——	宮田裕光・渡辺 茂・皆川泰代	125
平成21年度博士学課程生研究支援プログラム研究成課報告書		
東京大空襲の記憶の継承に関する社会学的研究	木村 豊	141
戦後日本社会と原爆被害者の生活世界に関する社会学的考察	八木良広	144
戦艦大和の記憶と地域社会に関する社会学的把握/記述	塚田修一	147
花街における芸の継承		
——京都北野上七軒の北野をどりを中心に——	中原逸郎	149
戦前期における外国人の日本旅行と日本へのまなざし	長坂契那	152
日系工業団地進出下の西ジャワ州周辺農村の再構成		
——2009年度カラワン県トゥルックジャンベ郡の調査から——	石田幸生	155
ピアノとフルートの合理化をめぐる考察	寺前典子	158
青年期男女の性別役割観とライフコース観		
——パーソナリティ特性との関連から——	八木孝憲	161
備中神楽に見る岡山県農村部の高度経済成長	川野裕一朗	165
民族の表象と伝統の変化の動態		
——インド、アルナーチャル・プラデーシュのモンパを中心に——	脇田道子	168
精神疾患新分類〈関係障害〉を導入する影響と治療の変化の生命倫理		
——医療人類学的研究——	大沼麻実	171
「不登校」の居場所における進路の相談をめぐる葛藤		
——スタッフやボランティアへの聞き取り調査を中心に——	森 啓之	173
疎開学園における教育経営の展開		
——慶應義塾幼稚舎を事例として——	柄越祥子	178
情動的要因がマンガを利用した学習に与える影響～教材評価を中心に～	玉田圭作	181
初期シュプランガーにおける教養理想の社会的概念への更新	松野大輔	183
柳田國男の見出した日本の習俗における教育的営み		
——近世から近代への視座を据えて——	渡部恭子	186
裁判における情報提示方法が裁判員の認知的判断に及ぼす影響	松尾加代	190
第二言語獲得研究から考察する省略構文の学習段階について	桃生朋子	192
児童期後期から青年期の自尊心と挫折経験との関連	神原知愛	196